

校長より

令和二年七月十四日(火)

芦和田市立北中学校 松下孝徳

一斉登校が始まって約一ヶ月、例年なら五月大型連休明けくらいの時期でし。うが、今年は月日の感覚が少しすれてしまります。まだ始まる間もはりて梅雨に入り、連日の豪雨で、九州や中部地方の川が氾濫し、多くの方が亡くなったり避難したりしています。東京では新型コロナウイルスによる陽性患者数が四日連続三百人を越え(二)記事が出来ることは一体何人にあつていいのでしょうか?大阪でも一昨日は三千人を越えました。第二波が第一波を超えてまっています。天災と病災が同時にこの日本に襲いかかっています。一刻も早い被災地の復旧と梅雨開け、そしてワクチンの開発、実用化を待ちゆびます。

先週の全校集会では二つの事をお話ししました。一つは「心の回復」についてです。私は先生方へ、「一学期ほつひの回復」を教めてくださいとお願ひしました。みなさんは放課後等を使つて全校生徒対象の教育相談で様々な思いを担任の先生に伝えたことかと思います。

まだ伝えきれていない人は必ず担任の先生に伝えてほしいと語しました。

二つ目は仲間づくりに「先入観や偏見は必要ない」ということ。一度も話さずに事のはじめクラスメイトを先入観（前もて作られた固定的な観点）や偏見（がたよった見方）をもつて見て一まとめと、良好な人間関係を築く上で、非常に妨げになる事が多かったです。本来親友となり一生の反になり得るのも知れず、相手と出会う機会を失うのは人生において大きな損失です。必ず下くさんの人とそらんと話をして下さい。顔を見て話をすることです、先入観や偏見なんか吹き飛んでしまう事がよくあります。その様な事を私の持病であるアトピーを例にして話しました。

天災や病災などまだ予断を許さない状況ですが、今学期も残り一ヶ月、悔いなく有志の義津時間にしていきたいと思います。保護者の皆様、ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。